



## 諸井の里山で

### 「一年生を迎える会」を実施しました！

4月28日（金）全校で、諸井の里山に出掛け、一年生を迎える会を実施しました。

オープニングは、青空委員会の子どもたちが中心となって行うセレモニーです。お姫様やカッパなどに扮した委員会

の子どもたちの登場に、子どもたちの笑顔と笑い声があふれました。セレモニーの後は、登校時と同じように、6年生に先導してもらったり、後ろから見守ってもらったりしながら、里山に移動しました。

里山では、里山保存会長様、諸井自治会長様、民生児童委員様、里山保存会の皆様など、地域の方々が子どもたちを出迎えてくださいました。午前中に、里山に鯉のぼりの飾り付けをしてくださいました。気持ちのよい風の中を元気に泳ぐたくさんの鯉のぼりも子どもたちを迎えてくれました。里山の自然の中を優雅に泳ぐ鯉のぼりは壮観でした。



里山では、地域の皆様から歓迎のご挨拶をいただきました。本校の子どもたちが地域の皆様から大切にされていること、そして子どもたちがこの地域の未来の担い手、創り手であることを実感しました。

その後、通学区ごとに、お弁当を一緒に食べ、午後の自由時間は通学区の6年生が計画してくれた遊びをして楽しく過ごしました。里山を駆け回る子どもたちの姿を地域の皆さんも、散歩にいられていた地元の皆さんも温かく見守ってくださいました。

本校では、今年度「自分も相手も大切にすること～東小の文化をつくる～」を重点目標に掲げています。今回の一年生を迎える会においても、子どもたちとこの目標を確認しました。どの学年の子どもたちも一年生を大切にしてくれています。東小の文化にしたいと特に意識しているのは、「人の話をしっかり聴くこと」「相手に届くあいさつをすること」「いじめ・いじわるを許さないこと」の3つです。

里山においても、子どもたちは話す人の方を向いて、しっかり話を聴くことができました。また、里山で出迎えてくださった地域の皆さんにも多くの子どもたちが自分からあいさつをすることができていました。見ていて誇らしく思える子どもたちの姿でした。通学区ごとの活動では、仲間を思いやって仲よく楽しく過ごすことができました。新年度が始まってまだひと月ですが、子どもたちが育っていることをうれしく思っています。

里山から帰る際、地域の皆様に全員でお礼を伝えました。代表児童に続いて、全員が、



頭を垂れしっかりとお礼を伝えている姿が美しくもあり、清々しくもあり、誇らしくもあり、一緒にいてなんとも言えない幸せな気持ちになりました。「自分も相手も大切に」子どもたちのステキな姿でした。

地域の皆様、保護者の皆様のお力添えがあつてこそその学校教育です。皆様と協働しながら、子どもたち一人一人が真に「自分も相手も大切に」して成長していくことができるよう、職員一同、精一杯努力してまいります。



### 引き渡し訓練への御参加をありがとうございました！

本日、引き渡し訓練を実施しました。通学路上の危険箇所、登下校中に大規模地震が発生した際の一次避難場所についても確認をお願いしております。災害が起こらないことが一番ですが、自然の力はコントロールできません。減災に向けた備えを進めていくこと、防災意識を高めていくことを各家庭でもよろしくお願いいたします。

自然災害以上に、交通事故も心配です。深刻な事故に遭ってからでは取り返しがつきません。明日から始まる連休中も含め、各御家庭での安全指導をお願いいたします。

## お知らせ

A教諭が今月4日（木）より産休・育休のため、お休みに入ります。なお、代替の職員につきましては、今年度4月からすでに配置され勤務しております。

### <A先生にインタビュー>

Q1 東小勤務2年間で一番感動したことは？

A 特別支援学校から交流で浅羽東小に来ました。初めての小学校でした。1年生の入学式と6年生の卒業式を見て、子どもの内面的な成長に感動しました。友だちと遊んだりけんかしたり、成功したり失敗したりしながら成長していく子どもたちの姿を見ながら、どんな経験でも糧にして成長していく子どもたちのもっている力に感動しています。



Q2 東小の子どもたちのステキなところは？

A 元気いっぱい、笑顔いっぱいなところ。優しさの表し方はそれぞれ違うけれど、みんな優しさあふれる子たちだなと思います。

Q3 子どもたちへのメッセージをお願いします。

A 楽しいときもつらい時もあると思うけれど、自分の気持ちを大切に過ごしてください。ずっと応援しています！

Q4 「親になる」今の心境を教えてください。

A 親になる実感がなかなかわかないまま、今を迎えています。でも、出掛けた時に赤ちゃんが気になるようになりました。そして、その小ささに癒やされています。しっかりとした親になれるのか、元気にうまれてくれるのか、不安もいっぱいです。いろいろな子育て情報を見ると圧倒されてしまいましたが、子どもの気持ちにより添うことを忘れないようにできたらいいなと思います。

昼の校内放送で、A先生がお別れのあいさつをしたところ、昼休みにたくさんの子どもたちが職員室を訪れ、お礼や励ましの言葉を贈っていました。A先生のことを大切にしてくれる子どもたちの姿がとってもステキで、A先生も幸せそうでした。